1 認知症とは

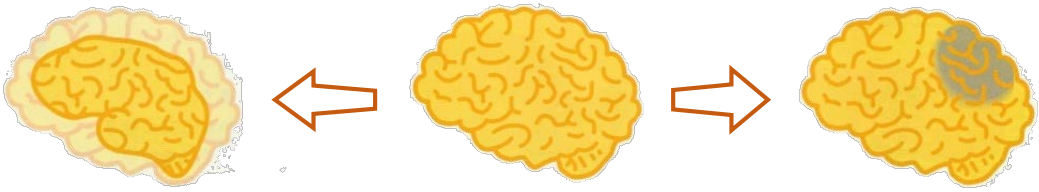
認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が傷ついたり働きが悪くなることによりさまざまな障害が起こり、日常生活に支障がでている状態を指します。

認知症と加齢による物忘れとの違い

脳の機能の病的な障害により起こる認知症と、加齢による物忘れには違いがあります。また、日常生活に支障があるかどうかも、見分けるポイントになります。

認知症	加齢による物忘れ
物忘れの自覚がない	物忘れの自覚はある
体験そのものを忘れる （約束したこと自体を忘れる）	体験の一部をを忘れる （約束をうっかり忘れる）
ヒントがあっても思い出せない	ヒントがあると思い出せる
判断力が低下する	判断力の低下は見られない
日付や曜日、場所などがわからなくなる	日付や曜日、場所などを間違える
↓ 日常生活に支障が出る	↓ 日常生活に大きな支障はない

認知症は脳の病的な変化によって起こります



変性疾患

脳の細胞が少しずつびまん性に死んで脳が委縮する

健康な脳

脳血管疾患

脳の血管がつまって一部の細胞が死ぬ

出典：全国キャラバン・メイト連絡協議会「認知症を学び地域で支えよう」